

CSW68 オンライン・サイドイベント報告  
山本由美子 岡山大学准教授  
2024年5月15日

女性の多角的な貧困課題と草の根の対応  
ー日本・スリランカ・グアテマラからの報告

Women's Multidimensional Poverty Challenges and  
Grassroots Responses:  
Insights from Japan, Sri Lanka, and Guatemala

2024年3月15日(金) 21:00-22:30(日本時間)  
08:00-09:30 (EST)

共催: 3 NGOs JAWW(日本女性監視機構)  
国連NGO国内女性委員会  
国際婦人年連絡会  
国連日本政府代表部

## パネルディスカッション

開会のご挨拶：山中修 大使 国際連合日本政府代表部次席常駐代表

モデレーター：山本由美子



**松元ちえ** 「女性による女性のための相談会実行委員会」 実行委員  
メディア協同組合アンフィルター (Unfiltered. coop)

「日本の事例：高齢女性の貧困課題と草の根の取り組み」



**Sepali Kottegoda** アジア太平洋女性監視機構 運営委員

「女性とメディア・コレクティブ」 女性の経済的権利とメディア部門プログラムディレクター

「危機下におけるケアとレジリアンス—スリランカからの考察」



**塚本明宏** JICA 「移民送金を通じた金融包摂推進アドバイザー事業」 業務主任者

「信用組合の金融・非金融サービス利用を通じた女性のエンパワーメントと経済力の向上—グアテマラにおける日本の国際協力事業」

## CSW68 オンライン・サイドイベント

参加者：118名

アクセス拠点：日本、米国、英国、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、レバノン、メキシコ、ナイジェリア、シエラレオネ、南アフリカ

登録者の年齢構成： <30 : 23%

30-59 : 41%

>60 : 36%

NPO/NGO: 55%

## パネルディスカッション



松元ちえ 「日本の事例：高齢女性の貧困課題と草の根の取り組み」

「女性による女性のための相談会」

- 市民団体、労働組合、弁護士などの協力で開設
- 10代～80代 数百人が訪れ、その大半は中高齢者

女性の経済的自立を妨げる構造的な性差別

- ケア労働
- 家庭内外における暴力
- 非正規雇用への集中など ⇨孤立と貧困

賃金格差→低所得・低年金

- 在宅ケア労働者の4人に1人が65歳以上、ほとんどが女性
- ❖ 労働災害死亡の約40%は高齢者→労働安全にも注目すべき
- ❖ 国の予算配分→ジェンダーに敏感な社会保護制度の強化へ
- ❖ 強靱な社会の構築は草の根の活動から、ケアする人・される人の尊厳を大切に

## パネルディスカッション



**Sepali Kottegoda** アジア太平洋女性監視機構 運営委員

「女性とメディア・コレクティブ」女性の経済的権利とメディア部門プログラムディレクター

「危機下におけるケアとレジリアンス—スリランカからの考察」

女性の労働参加率 32.1%， 男性の家事参加率 4.1%

→高齡女性の年金受給額が少ない， 地方では職が少ない

国の社会開発政策による貧困削減計画は比較的効果的であった

⇒コロナ禍、財政破綻→IMFらによる構造調整政策、インフレ

⇒1948年の独立以来最悪の経済危機

⇒貧困率11.5%→25%、電気代が2、3ヶ月で3倍に

子どもの退学、栄養失調（妊婦や新生児の母親への影響も）

⇒女性がインフォーマルな仕事を求める

❖ 政府の社会的制度や支援は貧困世帯に届いていない

## パネルディスカッション



塚本明宏 JICA「移民送金を通じた金融包摂推進アドバイザー事業」業務主任者

「信用組合の金融・非金融サービス利用を通じた女性のエンパワーメントと経済力の向上—グアテマラにおける日本の国際協力事業」

- ❖ 女性、特に地方在住の女性や既婚女性は職を見つけにくい
- ❖ 男性はより良い経済機会を求めて、米国に移民・出稼ぎへ
- ❖ 国内の家族への国際送金額はGDPの2割程度と高い
  - ⇒ プロジェクトは、相互扶助の概念を持つ地元の信用組合と協力して、主に送金の受取り手である女性（妻など）へ金融・非金融サービスを提供。世帯・地域の経済的安定と女性のエンパワーメントをめざす。

2023年の効果：

- 参加者の月収が、一人当たり約280米ドル増加
- 女性参加者の方が効果が高かった、特に20～30歳代の女性
- 資金を元手に起業する女性も



## Q & A, ディスカッション

- DV が国の経済に与える影響
- 女性の決定参画の重要性
- ジェンダー予算
- 人種・民族的マイノリティの視点による現状分析
- ステークホルダーや草の根の対応
- 多次元貧困指数(MPI) について
- 日本、スリランカ、グアテマラに共通する課題など

# THANKS!!

参加者の皆様

松元ちえさん、セパリ・コッテゴダさん、塚本明宏さん

3 NGOs (JAWW, 国連NGO国内女性委員会, 国際婦人年連絡会)

国連日本政府代表部

千葉奏美さん、山内彩さん (JAWW ユースレポーター)